

# にゅとぴあ 岸和田

岸和田市国際親善協会だより

ifa-きしわだ

## トルコ外交官と共に、 トルコ記念館訪問バスツアー

No.91

今日は、トルコと日本の関係の歴史についてお話しします。トルコと日本の間には約127年の歴史があります。17世紀の終頃、オスマン帝国は弱くなりました。ロシアが強くなって、

### トルコと日本の 友好関係

トルコ共和国外交官

Kerim Çelik  
ケリム チェリック

トルコはロシアに初めて負けました。それでトルコはアジアに強い国を探していました。日本はトルコにとって新しい国でした。日本はロシアに勝った最初のアジアの国です。トルコは日本と同盟を結びたいと思いました。

1878年11月に日本の軍艦が、イスタンブールへ行きました。サルタンは軍艦の艦長に勲章を贈りました。その後1881年に、日本の視察団がイスタンブールへ行きました。宮殿で貿易や戦争について、条約を結びました。1887年にプリンス小松もイスタンブールへ行って、日本の最高の勲章をサルタンに贈り (Order of hrysanthemum)、そして1889年7月14日に、トルコの軍艦 Ertugrul 号がイスタンブールを出発して、1890年6月7日に横浜に着きました。Ertugrul 号には656人が乗っていました。

横浜で Ali Osman Pasa 提督は、明治天皇や皇后に会いました。そしてトルコの最高の勲章 (Medal of Honor) を天皇に贈りました。Ertugrul 号は日本に3か月位、滞在しました。1890年9月15日の昼に Ertugrul 号は横浜を出ました。天気はとても良かったのですが、次の日天気が悪くなりました。急に大きい台風が来ました。Ertugrul 号は神戸へ行く予定でしたが、夜中に和歌山県大島の近くで沈没しました。1890年9月16日のことでした。587人が亡くなりました。提督も亡くなりました。



■トルコ軍艦遭難慰霊碑  
海難後100年以上が経過した今でも、5年毎に串本町と在日トルコ大使館の共催による慰霊祭が執り行われています。

69人だけが生き残りました。大島の人たちが Ertugrul 号の人を助けてくれました。

その事故から、トルコと日本の関係はいつもフレンドリーです。トルコ人は日本人が助けてくれたことを忘れません。トルコ人は日本が好きです。例えば、その頃たくさんのトルコ人が子どもの名前を「東郷」と付けました。「東郷」は日本の有名な元帥です。

今、和歌山県の串本には博物館と墓地があります。1929年に裕仁天皇はこの墓地を訪問しました。トルコ人もよく行きます。日本に心から、感謝しています。私たちはこの友情を決して忘れません。もう一度ありがとうございます。(ケリム)

(編者注：日本語学習期間約6カ月のケリムさんの原稿です。内容は日本語原文のままですが、編集上一部かな表示を漢字表示に変換しています。)

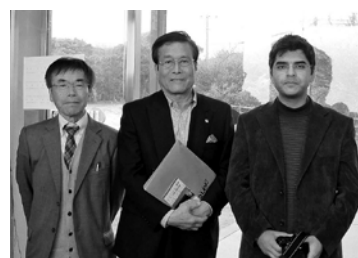
### トルコ外交官と行く親善バスツアー

3/17  
(土)

3月17日(土) 関西国際センターで日本語研修中の外交官 Kerim Çelik さんと共に和歌山県串本町大島にある「トルコ記念館」と「日米修交記念館」を訪問しました。今回の企画は協会が始まって以来の大型バスツアーで、生憎の悪天候にもかかわらず総勢40名の会員が参加されました。

記念館の由来はオスマン帝国(現在のトルコ)特使を乗せた軍艦「エルトゥールル号」が帰国の途にあった1890年(明治23年)9月16日22時頃、折からの台風による強風にあおられ、樫野埼に連なる岩礁に激突し、587名が死亡又は行方不明になる大惨事となった。灯台下に流れ着いた残りの生存者を住民たちは総

出で、数十メートルの断崖をものともせず、救助と介抱に当たり、69名が救出され生還することができた。そして、翌年2月に首都・イスタンブールに送り届けられた。これが日本とトルコの友好の始まりとして有名なエピソードとなっています。



右よりケリムさん、  
桐原会長さん、  
西畑会長さん

以下、  
次ページに  
続きます。



「にゅとぴあ岸和田」は世界の人びと、団体、都市との出合いを求め、ふれあいを大切にした親善・交流を通してお互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。

# 泉州国際市民チャリティーマラソン 堂々の2位、選手との交流

2/19  
(日)



消防署前で応援する私たちの前を  
颯爽と走り抜ける楊帥選手

2月19日、マラソン当日は、国際親善協会の方や他の選手のホストファミリーの方たちと消防署前で応援する中、颯爽と3人の先頭集団の2番手を走り抜けていきました。余裕のある走りに優勝の予感を感じながらも、異国でのレースのハンディを差し引いて、過大な期待を抑えていましたが、総合2位、未登録部門優勝という堂々の成績を残して我が家に楊帥選手と王紀華先生とが帰ってきました。

その夜の夕食は、台湾からの留学生(娘)、呉沛珊の通訳で、レースの様子や過去に我が家にきてくれたランナー、ト海琳、王力カ、高冬青、高大鵬(2回)、随同行の董亜芳、鮑天明、王定春、李歩高、銭駿先生との交流の状況や6年前に上海を訪問したときの写真を見ながら近況や思い出話に花が咲きました。

翌日の月曜日は、二人に日本を印象づけられる京都の銀閣寺(銀)、金閣寺(金)、平安神宮(赤)の派手な名所を案内しました。私たちが、上海の東方明珠塔をテレビなどで見るたびに上海を訪れたときのことを思い出すように、二人にも岸和田のことをいつまでも記憶にとどめてもらいたいとの思いです。



金閣寺を背後に、記念スナップ



総合2位、未登録部門優勝の証を持って、我が家に凱旋してきてくれた楊帥選手と王紀華先生

その夜も日本中国友好協会が催してくれた春節祭でも暖かい岸和田の心が届いたように思います。

僅か40時間足らずの短い交流でしたが、二人には良い思い出を持って帰ってもらえたのではないと思っています。私たちにとても忘れることのできない時間になりました。お世話してくださいました多くの方々に感謝いたします。(植田 修三郎)



前ページ  
からの続き

## トルコ外交官と行く親善 バスツアー

そして1985年(昭和60年)のイラン・イラク戦争において、イラク政府はイラン上空の航空機に対する期限を定めた無差別攻撃宣言の結果、帰国手段を持たない在イラン邦人は危機的状況に陥った。その際、日本政府の窮状を理解したトルコ政府は、直ちにトルコ航空機を派遣し、215名の日本人全員が救出され、トルコ経由で無事に帰国できたのである。そして、日本政府はイラン救出に当たったトルコ人の客室乗務員など13人に勲章を授与し、感謝の気持ちを送った。現在では日本では、「親日国トルコ」のイメージは確固たるものとなっています。

記念館訪問時は、強風と豪雨で当時の遭難状況を彷彿させるかのように海は荒れ狂っていました。ましてや当時、夜真っ暗な状況下での救難活動は、想像を絶するものであったであろうと推察します。生憎の天候のため、遭難地点を見



岩礁遭難現場



トルコ記念館にて、親善バスツアー  
参加者と集合写真

下ろす慰霊碑前での串本町主催の献花式とトルコ舞踊は中止となりましたが、南紀国際交流協会・西畑会長さんのガイドであらためて、トルコと日本の友好の原点であることを再確認することができました。串本町より全員にいただいたトルコのお守り「ボンジュウ」(青い神様の目玉)を大切に、親日国トルコに感謝したいと思います。

片道約3時間半のバスツアーでしたが、それを全く感じさせないいろいろな企画、トルコ語レッスン、トルコ関連クイズ、English Songs等々、本当に楽しい1日でした。ケルムさんにとっても忘れられない思い出となることでしょう。(塩屋 裕)

# 日本語サロン指導者レベルアップ講座開催 於：マドカ視聴覚室

3/3  
(土)

今回の講座は、日本語指導者養成講座でもご指導いただいている服部先生に「おしゃべりを通したコミュニケーション」というテーマでお話しいただきました。

外国の方にとって日本語サロンは、地域で暮らす人と日本語で話す、いわば実践の場であると先生はおっしゃいます。方言、言葉の微妙なニュアンス、近くのスーパーのお買い得情報など、おしゃべりは活きた日本語と、生活に必要な情報の宝庫だそうです。

とはいえ、お互いに打ち解けるまでは、なかなかおしゃべりが弾まないこともあります。そんなときはどうすれば良いのでしょうか。講座では先生の指示で、「隣の席の人と、春について思いつく言葉を挙げていきましょう。」というちょっとしたワークを行いました。



連想ゲームのような楽しいコミュニケーションの講座でした。



ご指導下さる服部先生

「春といえば入学式」「桜」「そうそうお城の桜とかね。毎年見に行くのよ。」といった具合に、最初はごくごく単語を挙げていたのが、皆さんいつの間にか単語から思いついたことをあれこれおしゃべりしているようでした。

このように、サロンでも共通の関心事から思いつくことを挙げ、外国の方とおしゃべりをどんどん膨らませたいものです。

その他、先生から、外国でも歌われている日本の歌を教材する、母語ではどんな言葉の使い分けをするかを紹介してもらい、ご当地クイズを作るなど、日本語学習についてのご提案もいただきました。

講座の後は、お茶とケーキをいただきながら、服部先生と、ご出席くださっていた澤田先生、そして参加者の皆さんとお話し、とても充実した一日となりました。

(永橋 逸子)

## 第10期日本語指導者養成講座修了者 日本語指導者10年継続者のご紹介

### 第10期日本語指導者養成講座修了者のご紹介

昨年の12月8日、第10期日本語指導者養成講座を修了された皆様おめでとうございます。今後は各日本語サロンでの指導よろしくお願ひします。修了された方は、次の方たちです。

石橋 順子	岡田 薫	緒方 理世	荻野 昌美
奥野 幸子	奥野 藤樹	金城 幸子	白旗 保子
中野 岸子	永橋 逸子	藤原 英子	羽田喜久夫
備後 節博	藤原 英子	松尾 恵	松本 光雄
南 香織	吉田 正博	米本 潤	(以上18名)



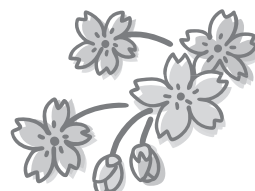
連想ゲームのような楽しいコミュニケーションの講座でした。



### 日本語指導者10年 継続者のご紹介

今年度で、日本語指導者を10年続けられた5期修了者の皆様を紹介し、総会において感謝状を贈呈させていただきます。

青野 潤子	猪瀬 哲男
榎本 陸也	新田智佳子
平瀬 和子	安武 実子
	(以上6名)



# にほんごカタコトさろん ～おひなまつり～

2/26  
(日)

2月26日、久米田寺明王院で『にほんごカタコトさろん～おひなまつり～』が開催されました。今回は明王院所蔵のひな人形を愛でながら日本語サロン生が日本の伝統文化に実際に触れて理解を深め日本語でおしゃべりをする企画です。



参加者はサロン生14名、指導者及び関係者20名の大盛況となり、急遽テーブルを追加して座席を確保するなど嬉しい慌しさを味わいました。ひな人形は七段飾りのたいへん豪華なもので、ほとんどのサロン生は初めて見る様子

でその華麗さに感嘆しつつ記念写真を撮っていました。

行事の始まる前に数人の女性が着物に着替え一層の艶やかさを加味して、日本語によるおしゃべりが始まりました。歓談を楽しんでいる合間に協会員による尺八と琴の演奏を鑑賞したり、『うれしいひなまつり』や『故郷』を全員で合唱したりしました。そのあと飛び入りでオーストラ



明王院所蔵のひな人形

リアからの交換留学生のエレン・ブロックさんのとてもきれいな歌声の独唱を聞かせて頂きました。

楽しい時間があっという間に経過し、予定の2時間を30分もオーバーしてしまいました。次のこのような機会を期待しつつ、満開になった明王院の庭の梅の香りを後に帰路つきました。

最後になりましたが、会場を提供して下さいました明王院の上田さん、ありがとうございました。

(吉田正博)

## 2012年度総会の開催

5/19  
(土)

と き： 2012年5月19日(土) 13:30～15:30  
と ころ： 市立自泉会館 1F ホール

- Ⅰ部 2011年度事業・決算報告、2012年度事業・予算の審議・会則の改正など
- Ⅱ部 川崎 亜沙美さんのトークショーをお楽しみください

■当日、2012年度の会費  
一般 2,000円、ペア 3,000円、学生 1,000円  
団体・法人会員 10,000円 各1口の会費です。  
(口数は問いません)の納入をお願いします。  
※出席者は、FAX・メール・TELにて事務局まで

必ずご連絡ください。

■締切：5月12日(土)必着

★お車で越しの方は、市役所  
駐車場(自己負担)をご利用  
ください

NHKの朝ドラ「カーネーション」で、コソノ家の二女ジュンコ役を演じ、好評を得た岸和田出身の女優さんとの対談です。  
お楽しみに! ★会場での川崎亜沙美さんの写真撮影はできません。ご了承ください。



昨年の総会

### 6カ国語に対応出来る 歯科医院の紹介

グレース・ルシアナ・スナルディ博士はインドネシア出身の女性です。  
日・英・インドネシア・フランス・ドイツ・中国・韓国語に対応されます。

夫君は書家の目黒雅堂さん。グレースさんも雅泉の号を持ち2階の画廊で作品の展示販売をされています。収益はキリスト教の奉仕活動にあてておられるとのこと。サロン生などにお伝えいただければと思います。

### グレース歯科医院 (院長グレース・目黒さん)

日・シンガポール・インドネシアの  
医師免許保有

岸和田市尾生町4-5-4  
TEL. 443-4766

完全予約制  
土・日・木は休み  
月は午後のみ



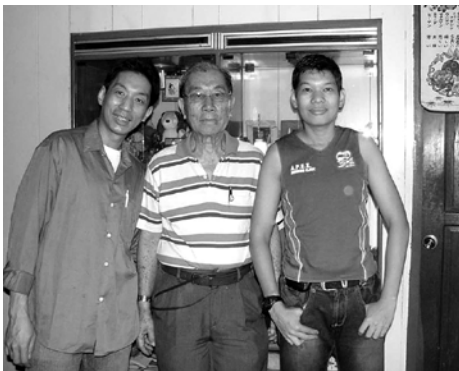
# 「ホワット・イズ・ユア・ネーム？」

Alvin Tan アルビン タン

こんにちは。大阪府国際交流財団の国際交流員のアルビンです！日本は今、桜のシーズンから新緑のシーズンを迎えようとし、一年で一番すばしい季節ですが、私の国、フィリピンでは1年中、日本の真夏のような気候が続いています。

さて、タイトルを見て、皆さんはどんな内容を思い浮かべたでしょうか？去年国際理解教育の仕事で高校生たちと英語で交流したことがあるのですが、自己紹介の時に高校生たちが紙を読みながら私の名前を英語で聞きました。

「ホワット・イズ・ユア・ネーム？」その高校にはアメリカ人のALT(外国語指導助手)がいて、英語でしか話さないのになぜ発音は治っていないのかとふと思ってしまいました。思いつく理由はいくつかありました。



左より、アルビンさんとご家族

まず、おそらく英語を勉強する時に「文字」から入ります。もちろんその文字の読み方は分からないのでフリガナがふっているでしょう。それから、発音する時に一つずつの単語の発音を強調して、文章になった時の発音は強調されていないでしょう。フリガナがふっている単語の導入から始め

ると日本語の発音で縛られて、日本語にはない発音の習得が難しくなるし、学生が文字に頼りすぎて文字なしだと単語を言えなくなってしまいます。一つずつの単語の発音を強調することで、会話の時の自然の発音習得を防ぐし、普通の会話をすぐに聞き取れないと思います。例えば、「I ate an egg.」という分を学生に読ませると「アイ・エイト・アン・エッグ」と読むでしょう。しかし、普通の会話では、これは(カナで書くと)「アイ・イエイト・ネッグ」というふうに聞こえるでしょう。「アイ・エイト・アン・エッグ」と覚えている人は「アイエイト・ネッグ」を聞いたら、何を言っているかすぐに分からないでしょう。では、どうすればいいでしょうか。

教えるのなら、まず、文字は見せないで「単語」ではなく、「文章」を聞かせて言わせます。(大事なことは音をカタカナとして考えさせないことです。聞いた音を真似させます。文章の意味を先に言っても構いません。)言わせることで覚えさせます。ある程度できてから文章を見せてもう一回言わせます。最後に各単語の発音の練習をすればいいです。カタカナを使わないことです。このやり方は難しいのではないと思うかもしれないけど、実は学習者にとってこの方が楽です。なぜかという、一つのことには集中していないからです。そうです。最初は聞くことに集中。それができたら、読むことに集中できます。聞きながら文字を見せると学生は二つのことをやろうとしています：聞くことと読むことです。

先日ある支援学校に行き、フィリピンの紹介をしました。英語の授業だったので英語の歌を歌ったり、自己紹介したりしました。知的障害を持った学生たちと言っても英語の発音はとてもよかったです。気になっていて、よく見たら単語カードや自己紹介用の紙にカタカナが書いていませんでした。そして、先生は英語の単語や文章を言って繰り返して学生に言わせていました。きっと文字より聞くことと話すことに重点をおいているのでしょう。

言葉とはもともと「会話」しかありませんでした。「文字」は後で来ました。ですから、コミュニケーションのために言語を習得したいのなら、まず「音」と「発話」から始めましょう。(原文:日本語)

## 地球家族

### ■絆をたいせつに

東日本大震災から一年がたった3月11日、あの日と同じ、私はまた岸和田を離れていた。テレビに映し出される惨状に言葉を失って、悲しい思いをしたことがよみがえった。それが自分の街だったら、、、と思い、95年にシドニーで、日本への電話がつながらず、「いったい岸和田はどんなになってんやろう」と心配したことをまた思い出した。

96年1月、神戸市西区にあった仮設住宅の入居者の人たちに甘酒を配った。「ありがとう。いただきます。」と言ってくれたおばあちゃんはその後どうなったのだろうか。帰国した時にしかできないのに、「何かをしないと!」という自己満足のボランティアだったのかなと今思い出す。こんな日本人もいるのに、海外からの援助はなんて真剣なのだろうと頭が下がる思いだ。

国の首長や有名人だけではない、昨年から今年にかけて、被災地に自ら入った多くの外国人の方々には感謝の気持ちでいっぱいだ。スマトラ沖地震で故郷の街が被災したインドネシア人の看護師たちは、日本への恩返しだと、いち早く被災地に飛んできてくれた。今も世界各地で「日本の復興のために。」と支援が続いている。世界中から届く日本への「思い」を今一度考える時がきているのではないかと思う。

日本人が人との絆、街との絆をより深く考えさせられたこの一年。岸和田がNHK連続テレビ小説『カーネーション』でその「絆」を全国に、いや世界中に発信できたのはすばらしいことだったと思う。東北からは「岸和田の元気がもたらされたよ。」と、そしてオーストラリアからも「岸和田には強い絆があるね。」と便りが届いた。それは物語を通してだったけれど、この機会に自分の街や地域を、そしてそこにある「絆」を再発見した人も多かったのではないだろうか。

この「絆」をたいせつにしよう。守ってきたものがそこにある幸せ。そして新しい「絆」もたいせつにしよう。違うものを受け入れる寛容さ。もう一度、良く目を凝らして自分の周りを見つめなおしてみたい。「外国人」として暮らしていた頃の気持ちが妙に懐かしいのはなぜなのだろうか、と。(三森 すみ代)

# Living in 岸和田

KISHIWADA  
第6回

## 岸和田に暮らして...

かつては外国の街、岸和田も住めば都となり今は自分が暮らす我がまち岸和田。

そんな国際色豊かなifa-きしわだの心強いサポーターでもある皆さんに、自分史や岸和田での暮らしについてお話しいただいています。

第6回は James Aldrich(ジェイムス・オードリッチ)さんです。日本語サロンの生徒さんであったり、昨年12月のスピーチ&ランチパーティではコメンテーターもさせていただきました。



### James Aldrich ジェイムス・オードリッチ

皆さんはじめまして!岸和田に住んで早7年になるジェイムスです。出身はカナダのビクトリアです。私が初めて日本に来たのは1990年8月です。柔道二段の父と私たち家族は一年を掛けて太平洋地域の国を回る旅に出て、その最終目的地が

日本でした。旅先で知り合った大阪の人たちの優しさに触れ、再び大阪に来たのは大学生の時、2001年から一年間住んでいました。

その年の9月と10月、私は今まで見たこともないお祭りを目の当たりにしたのです。それは驚きの連続でした。塔原線を堺町

人、人。そしてだんじりを初めて見たときの感動は今も忘れられません。最初はスポーツのように思っていた岸和田祭りですが、ご縁があって、下池田町のだんじり曳行に関わらせていただくようになり、だんじりの歴史を学び、町内の皆さんの役割や祭りへの思い入れがよく分かるようになりました。そして今では下池田町後楳子長を仰せつかり、なんとも光栄なことです。

2005年に岸和田市出身の妻、弘美と結婚し、現在小松里町でJ&H英語教室を運営しています。

子どもから大人までいろいろな年齢の生徒さんが

います。英語の言葉だけではなく、キャンプやホームステイなどのアクティビティを通して、日本と違った文化も体験していただいています。私自身も、ifa きしわだの日本語サロンで言葉や文化を学んで今こうして岸和田で生活しているように、子どもたちには私の教室から世界へ飛び立ち、そしてそれはまた自分の街、岸和田を外から見るチャンスにしてもらえたらうれしいです。将来の岸和田の子どもたちのためになる教育方法とはどんなものなのか、ということも今勉強しているところです。

私は岸和田の仲間意識が強いところが大

好きです。だんじり囃子が聞こえると、じっとしてられないのは「岸和田人」に近づいているからかな、と思う時もあります。今年もまた、きれいな「やりまわし」が見せられるように、グッと後楳子を持ち上げますよ。

岸和田八木地区の祭りも見に来てやー。



奥さまの弘美さんと



岸和田城での結婚式

## Information 案内

### ■11期日本語指導者養成講座開講

#### 日本語指導者養成講座(初級)開設説明会

外国人に日本語を教える基礎技術を学ぶ日本語指導者養成講座(初級)を開講します。岸和田市国際親善協会の会員になれる方で、次年度の上級講座修了後、協会の実施する「日本語サロン」で指導ボランティアとして活動していただける方が対象です。受講ご希望の方、迷っている方、まずは開設説明会にご参加ください。年齢、外国語能力は問いません。

#### <開設説明会>

(とき) 4月22日(日)午前10時~12時  
(ところ) マドカホール 3F 視聴覚室

#### <講座>

(とき) 5月24日~12月6日の毎週木曜日  
午後7時~8時半 ★全22回(予定)  
(ところ) 市職員会館(岸城町)  
(費用) 受講料は無料。ただし協会年会費2千円、テキスト代5,000円が必要です。受講申し込みされる方は当日用意ください。当日、出席無理な方は事務局まで申し出ください。

### ■市民フェスティバルスタッフ募集

(とき) 5月3日(祝)9時半~15時半  
(ところ) 中央公園  
(内容) ちぢみの販売・おもちゃづくり  
\*スタッフは8時半集合。  
お手伝いいただける方は事務局までお申し出ください

### ■異文化理解講座「中国」深「発見」開催

(とき) 6月30日(土)13時半~15時半  
(ところ) マドカホール 視聴覚室(チラシ参照)

### ■関西バリ舞踊祭

恒例の舞踊祭を今年も開催します  
(とき) 6月2日(土)17時~19時半  
(ところ) 岸城神社 (チラシ参照)

にゅとびあ岸和田No.90 編集担当

塩屋 裕・三森すみ代・米川 典子

お問い合わせや感想などは事務局まで TEL&FAX (072)457-9694